

混廃の大型選別施設が完成

●関西クリアセンター(株)

産業廃棄物の中間処理や収集運搬で実績を持つ関西クリアセンター(株)(大阪府堺市西区築港新町3-27-17、伊山権一社長、☎072-280-1138)は大阪府泉大津市に、日量1000m³の受け入れが可能な大型の選別・破碎と収集運搬の積替保管の基地になる「泉州プラント」を完成させた。総工費は約12億円。建設系の混合廃棄物や埋設物の掘り起こし、災害廃棄物の中でも混ざったものを処理することができる。

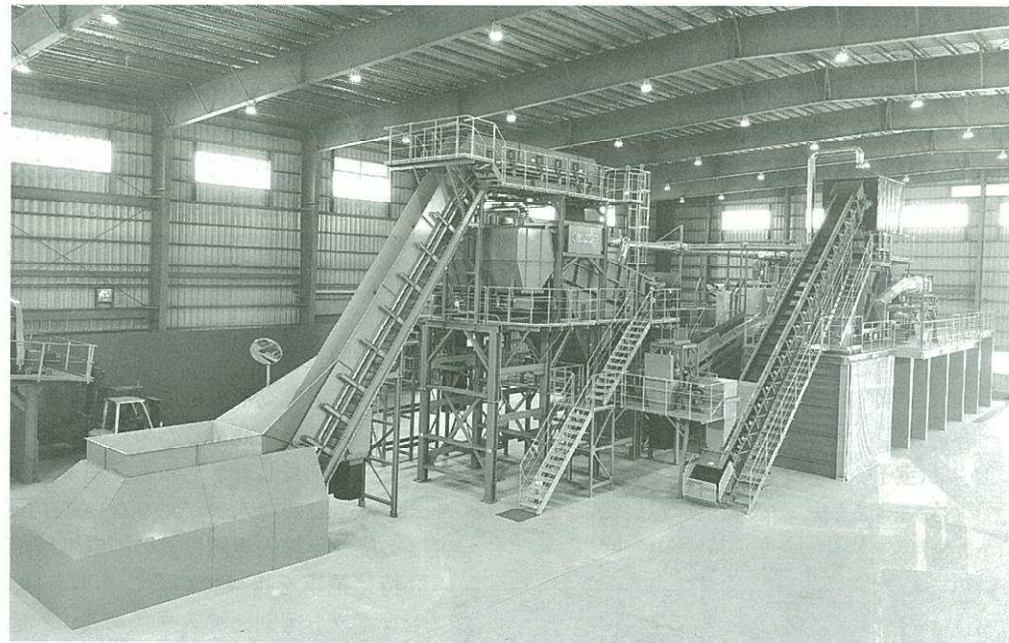
施設の設備は、ベルテック(株)(大阪府岸和田市)が担当。敷地面積は約4500坪、建屋は約800坪。建屋は中央に柱のない横河システム建築で作上げた。粉じん対策と

して、集塵機(500m³/分)と天井にミストを設置した。

泉州プラントの受け入れ品目は、燃え殻、汚泥、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、廃プラ類、金属くず、ガラスくず・陶磁器くず、鋳さい、がれき類、ばいじんの12種類。

施設内で破碎機を3基設置し、SSIの二軸破碎機は日量155.5m³。一軸破碎機は日量101.85m³。ガラスくず、がれき類といった重量物の破碎は、日量988.8tの処理能力がある。

積替え保管の許可も泉州プラントで取得しており、最大保管容量は積み上げ高さ3mで48.2m³とした。



混合廃棄物を受け入れる泉州プラント内のようす



泉州プラントの建屋

混合廃棄物の選別施設は、最初に「バリソート」で一定の大きさ以上の重量物と軽量物、それ以下の物に分ける。

一定以上の重量物は、重量物搬送コンベヤで運ばれて、手選別コンベヤ上でプラスチック類、木くず等を除去。続いて紙くず等の計量物は、吸引装置で吸い上げる。次に永磁式ベルト磁選機で金属くずを集める。その後、水流選別機に通して、ごみを除去。ごみを除去されたがれき類は金属検出機に通して、再生碎石になる残さと非鉄金属を含む不適物に分ける。

一定以下の物は、最初に永磁式ベルト磁選機で金属くずを除去後、振動ふるいにより細かいサイズに分ける。より細かいサイズは「風力選別機」で紙くずのような軽いものを取り除き、重いものは重量物コンベヤに合流する。より細かいサイズの風力選別後の物はセメント会社へ原料として出荷



日量1000m³の受け入れが可能

する。最初のバリソート後の軽量物は、最初に永磁式ベルト磁選機と金属検出機で金属くずを徹して除去。続いて、軽量物手選別コンベヤで塩素を含む紙くずと廃プラ等を取り除き、一軸破碎機にかける。再び永磁式ベルト磁選機で磁性物を取り、最後に圧縮梱包機で梱包しセメント会社や製紙会社へ燃料として出荷する。